



雅楽 & 洋楽

世界最古のオーケストラと
言われる雅楽

新生三春弦楽四重奏の
「ボヘミアン・ラブソディー」

2019年

9月29日 日 **開場 PM 2:00**
開演 PM 2:30

場所 **三春交流館「まほらホール」**

全席自由 **1,500円**
高校生以下 **1,000円**
小学生以下 **無料**

本コンサートは三春アンサンブル支援会
会員の会費により運営しております。

福島県文化振興財団 助成

チケット取り扱い窓口

- 三春交流館まほら
TEL/0247-62-3837 (電話にてチケット予約)
休館日: 毎週月曜日 (当日お渡します。)
- けんしん郡山文化センター
(郡山文化センター)

チケット販売について

- 前売り券販売
7月14日(日)~

雅楽 (福島県雅楽会)



- 管 絃
 - 平調音取 (ひょうじょうのねとり)
 - 越 殿 楽 (えてんらく)
 - 陪 臚 (ばいろ)
- 祭祀舞 豊栄の舞 (とよさかのまい)
- 御神楽 人長舞 (にんじょうまい)

三春弦楽四重奏



- ボヘミアン・ラブソディー [フルバージョン]
(クイーン)
- 情熱大陸 (葉加瀬太郎)
- 慕情 (映画音楽/サミー・フェイン)
- ムーンリバー (映画音楽/ヘンリー・マンシーニ)
- 見上げてごらん夜の星を (いずみたく)
- 愛の喜び (クライスラー)



雅楽

雅楽は平安時代に繁栄を極め、宮廷で執り行われる四季折々の祭礼や儀式、行事に深くかかわり続け、大成した演奏様式。その優美な音色は、国の篤い庇護のもと、現代に受け継がれてきました。

雅楽の成り立ち

神社の祭礼や神前結婚式などで、厳かな演奏を耳にすることができる雅楽は、日本古来の歌舞とアジア大陸や朝鮮半島から伝来した器楽と舞が融合してできた芸術です。平安時代中期頃、今に伝わる形に完成した雅楽の演奏様式は、日本の最も古い古典音楽となっています。

近年では、雅楽を愛好する鑑賞者の増加に伴い、これまでの役割に加え、さらに人々の暮らしに寄り添う音楽として未来へ受け継がれて行きます。



演奏様式

管 絃 管楽器、打楽器、絃楽器による器楽合奏。世界最古のオーケストラと言われています。

舞 楽 舞を伴う演奏。唐楽（中国系の楽舞）と高麗楽（朝鮮半島系の楽舞）の二つがあります。

歌 物 民謡を歌詞とする催馬楽と漢詩を歌詞とする朗詠があります。

国風歌舞 日本古来の歌物。御神楽、東遊、五節舞などがあります。



福島県雅楽会

県内神職の雅楽愛好者が集い、昭和52年「福島県雅楽愛好者会」として発足、昭和58年「福島県雅楽会」と改名。福島県神社庁の例祭を始め、神社・支部・関係団体の諸行事での奏楽奉仕や奉納演奏を行っています。また近年は、小・中学校での雅楽体験教室や、団体、施設主催での雅楽鑑賞会なども行っています。

洋楽

2003年の春、三春町に本格的なコンサートホール「まほら」がオープンするのを機に「我が町に自前のオーケストラを作ろう」「若手音楽家の演奏を支援しよう」「学校での音楽教育を応援しよう」という有志の思いから実行委員会を立ち上げる。

三春町内外100名を超える方々にご賛同いただき、三春アンサンブル支援会を設立し「三春弦楽四重奏」を結成。年2回のコンサート及びスクールコンサートを実施。今年度より新メンバーで再結成。



新生

三春弦楽四重奏



井上 聡
演奏者代表



田中 洋子



井上 弘之



佐藤 佳子